

「ワールドラン」

滋賀銀行 常務取締役 大野 恭永



マラソン大会「ワールドラン」が5月8日、高島市で開催され、参加しました。世界6大陸34カ国で同時刻にスタートするユニークな大会で、日本会場として昨年、高島市が選ばれ、今年で2回目です。

この大会は、脊髄損傷治療法の発見に取り組む研究に資金援助する非営利団体の財団「Wings for Life」を支援するため開催されています。開催会場を選ぶには、坂が多くない、トンネルがないなどの条件があり、日本では多くの候補地の中から高島市が選定されました。

大会は世界各地で同時にスタートしますが、時差のため地域によって早朝だったり、深夜だったりします。日本会場では午後8時、

今津総合運動公園をスタートし、私も多くのランナーとともに500本のメタセコイアが植えられた琵琶湖畔の並木道を目指し豊かな自然を満喫しました。

いま、県内の自治体では「地方版総合戦略」が策定され、実行段階に入っていますが、数ある大会候補地の中から選ばれた滋賀県へ全国から多くの人々が集まり、にぎわう様子を見て、湖国の持つ“魅力”を改めて知るとともに、なんとか地域活性化の“原動力”に、と思いました。

そのためには、私自身ももっと滋賀の魅力と潜在力を知らなければ、とも思いました。そんなことを気づかせてくれる今回の「ワールドラン」でした。

しがぎん
TOPICS

2016年度「サタデー起業塾」を開講

『しがぎん』ビジネスフォーラム2016 サタデー起業塾を5月21日に開講しました。

17年目となる今年度は、「未来(あす)を担う次世代ビジネスの創造」をメインテーマに、内容を大幅にリニューアル。県内上場企業7社のご協力を得て、「しがぎん野の花賞」^{※1}に「協賛企業賞」を新設しました。来年2月まで全5回開講します。

各回では、著名な企業やベンチャー企業の経営者による「トップマネジメント」講演に加え、野の花賞エントリー企業向けには個別プログラムも実施。株式会社リバネスや「野の花応援団」^{※2}と連携して、ビジネスプランの策定やブラッシュアップをサポートするほか、提携が見込める企業とのマッチングの場も提供します。

第1回目は、株式会社スペースマーケット 代表取締役 重松大輔氏、株式会社リバネス 代表取締役CEO 丸幸弘氏(農学博士)による講演の後、野の花賞先行エントリー企業10社によるプレゼンテーションが行われました。

当行はこれからも、「新たな成長を実現するニュービジネス(新規事業)」の育成を強力にサポートしてまいります。



株式会社リバネス 丸幸弘氏の講演に耳を傾ける受講生

※1 「しがぎん野の花賞」／ニュービジネスに取り組む「サタデー起業塾」の受講生を表彰するもの

※2 「野の花応援団」／当行および産学官連携によるニュービジネス支援ネットワーク